

# 西大和つうしん

2014年 12月号

No.390



三十三間山から轆轤山へ向かう  
10月26日例会山行（県連交流山行）

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

## 第390号(2014年12月号)

### 【目次】

1 2月度山行計画.....	1
1 2月度・1月度カレンダー.....	2
山行・行事等参加メモ.....	3
<b>山行報告</b>	
・ 県連交流山行 《10月26日》 江若国境 三十三間山・轆轤山(勝尾).....	4
・ 自主山行 《11月3-4日》 鈴鹿の山 雨乞岳・竜ヶ岳(杉村・亀井)....	6
・ 自主訓練山行 《11月8日》 京都の山 金毘羅山(杉川).....	8
・ 例会山行2 《11月16日》 奈良中部 山の辺の道・北部(田中初).....	9
室内例会だより(10/29).....	10

### 1 2 月 度 山 行 計 画

※11/9 予定の山行(中止)と同コース。ただし、車でのアプローチ。

◆12月7日(日)：例会山行1 ◆宇陀《音羽山・経ヶ塚山》

〔L：田中(悦) / 緊連：島崎〕

【集 合】上牧町役場前駐車場 8：00

【コース】下居バス停(9:40)～善法寺(10:30)～音羽山(11:10)～

経ヶ塚山〔昼食〕(11:40)～熊ヶ岳(13:00)～大峠(13:30)～

針道(14:00)～不動滝バス停(14:30)

～ゆっくり京都を歩きませんか？～

◆12月14日(日)：例会山行2 ◆京都《京都トレイル・東山コース》

〔L：杉川 / 緊連：島崎〕

【集 合】JR 王寺駅中央改札前 7：30

(王寺 7:38=奈良 7:53/56=宇治 8:27/34=稻荷 8:56)

【コース】伏見稻荷～(1:10)～泉湧寺～(1:30)～清水山～(0:30)～東山山頂公園～(0:45)～地下鉄蹴上駅

【歩程：12km / 歩行時間：約4時間】

# 西大和山の会 カレンダー

12 月		2015年 1 月	
1 月		1 木	◆初日の出山行
2 火	県連理事会(県連事務所19:30)	2 金	
3 水		3 土	◆例会山行・麓:長峰山(島崎)
4 木	県連登山学校・座学第8回(県連事務所19:30)	4 日	
5 金		5 月	
6 土	17日県連登山学校・実山行(行先未定)	6 火	県連理事会(県連事務所19:30)
7 日	◆例会山行・麓:音羽山(田中悦)	7 水	
8 月		8 木	県連登山学校・座学第9回(県連事務所19:30)
9 火		9 金	
10 水		10 土	
11 木		11 日	県連登山学校・実山行(行先未定)
12 金		12 月	
13 土		13 火	
14 日	◆例会山行・麓:レイル:東コース(杉川)	14 水	
15 月		15 木	
16 火		16 金	
17 水	『西大和つうしん』1月号原稿締切	17 土	
18 木		18 日	◆例会山行・麓:堂満岳(藤井)
19 金		19 月	
20 土		20 火	
21 日	◆室内例会(15:00~)・忘年会(17:00~魚八庭)	21 水	『西大和つうしん』2月号原稿締切
22 月		22 木	
23 火		23 金	
24 水		24 土	
25 木		25 日	◆例会山行・麓:俎石山(田中悦)
26 金		26 月	
27 土		27 火	
28 日		28 水	◆室内例会
29 月		29 木	県連登山学校・座学第10回(県連事務所19:30)
30 火		30 金	
31 水		31 土	

※朱書き部分は訂正、青字は追加情報です。

## 山行・行事等参加メモ

入会順		室内例会	例会山行1	例会山行2	室内例会	自主山行				
		11/26 室内 例会	12/7 音羽 三山	12/14 京 都 トレイル	12/21 忘年 会	12/23 矢頭 山				
1	(窪田)				○					
2	都築	○	×	×	○	×				
3	藤井	○	○	○	○	○				
4	(石田)									
5	多賀	○	×	○	×	×				
6	田中悦	○	○車	○	○	○車				
7	島崎	○	×	×	○	○L車				
8	田中初	○	○	○	○	○				
9	村田	○	○	×	○	○				
10	林	○	×	○	○	△車?				
11	辻	○	×	×	○	×				
12	勝尾	○	○	×	○	○				
13	藤本	○	×	×	○	×				
14	杉村	○	×	○	○	×				
15	高橋	休 会 中								
16	玉越	○	×	×	○	○				
17	的場	×	×	×	○					
18	杉川	×	×	○L	×	△車?				
19	阪口	○	△	×	×	○				
20	橋本	○	○	○	○	○				
21	今井	○	×	○	○	○				
22	亀高	○	○車	△	○	×				
23	松浪	×		○						
24	亀井	○	○	○	○	×				
25	船江	○	×	○	○	×				
26	野路	○	×	○	△	○				
	合計	20	8+α	13+α	19+α	11+α				

※参加データは 11/26 の室内例会時のものです。

## 例会山行2（登山バス）・県連交流山行

### 江若国境の山：《三十三間山～轆轤山》

【日 程】10月26日（日）快晴

【参加者】CL/A-L 藤本・A-SL 島崎・田中(初)・村田・亀井 // B-L 今井・B-SL 玉越・林・藤井・亀高・勝尾 // C-L 杉川・C-SL 阪口・橋本・多賀・辻・杉村 // 他会：奈良労山5名・奈良HC4名・オオヤマレンゲ3名・こぶし4名・山楽会1名（西大和17名、他会17名、計34名）

【コ-タイム】

〔A 班〕倉見登山口駐車場(10:12)～三十三間山登山口(10:27)～最後の水場(10:50)～夫婦松(11:24/27)～風神(12:03/08)～三十三間山頂上(12:30/33)～昼食場所(12:41/13:12)～轆轤山(13:58/14:09)～林道白屋線出合(14:43/48)～林道白屋線国道口(15:34)

〔B 班〕倉見登山口駐車場(10:09)～三十三間山登山口(10:26)～最後の水場(10:49)～夫婦松(11:19)～風神(11:50/53)～三十三間山頂上(12:15/19)～昼食場所(12:28/13:08)～轆轤山(13:54/14:07)～林道白屋線出合(14:44/47)～林道白屋線国道口(15:37)

〔C 班〕倉見登山口駐車場(10:08)～三十三間山登山口(10:24)～最後の水場(10:43/46)～夫婦松(11:13)～風神(11:50/53)～三十三間山頂上(12:12/18)～昼食場所(12:26/13:03)～轆轤山(13:52/57)～林道新道線終点(14:30)～P369 鞍部(14:40/47)～林道白屋線国道口(15:34)

※轆轤山から林道への下山路は各班 L の選択に一任

今回の県連交流山行は西大和の担当で、三十三間山から轆轤山へ行くことになった。当日好天に恵まれ、観光バスで予定通り倉見登山口に到着。降車後、前もって決められていた様に3班に分れ、それぞれリーダー、サブリーダーの紹介から全員の自己紹介を終えて、C班、B班、A班の順に出発する。登山届けのポストの前で、届けをA班の総Lが提出する事を確認していざ出発。杉木立の中の沢沿いの道を行く。15分程行くと三十三間山登山口の立て札があり右の沢に入る。暫く登ると



最後の水場に着いた。

そこから沢を渡り少し登って尾根に取り付く。この辺りから登りも急になり、この日はこの時期にしては気温が高めであったので、時々吹く爽やかな風に心地よさを感じながら、汗を拭き拭き登る。

夫婦松を過ぎた頃から紅葉が色付き初め、登るほど色鮮やかになってきて木漏れ日が美しい。風神では風神様が祭られ、皆、お参りをし尾根を登り切った。稜線に出ると突然視界が開け、ススキの草原の向こうに綺麗

に紅葉した三十三間山が現れた。山頂までの草原で、団体さんが昼食を終え出発準備をしている。私達は山頂へ登ってから同じ所で昼食を取った。前に若狭湾、遠く青葉山、背後には高島トレイルの山並み、ブルーの濃淡の幾重にも連なった遠くの山々。悠々とした風景、ゆったりと流れる時間・・・でもそうとばかりはしておられない。これからがややこしい道になると下見に行かれたリーダーの話。その言葉通り、轆轤山への分岐のロープを潜った途端やブコギとなり、分りにくい道を見つ



けながらの稜線歩きとなった。轆轤山に近付くと荒涼とした禿山となり、つげの木だけが風に耐え、枝も伸ばせずちぢこまった姿で砂にまみれて生きていた。そのつげに足を取られながら轆轤山に到着。ここでB班のNさんが最後の林道を短縮する為に、道の無い尾根を下る事を提案され、数人がルート偵察に行くが、慎重に判断して取り止める事になり、C班の後に続いて下山する。殺風景な禿山から杉林に入りテープを目印に進むが分り難い。後のA班から九十九折の道（正規の道？）を教えて貰い引き返す。その引き返す途中、私の前を薄茶色の何かが走ったと思ったら、大きな石が転がりながら落ちていった。誰もいない所だったので事なきを得たが、大きな石だったので人に当たれば大怪我になる所だった。九十九折の道から杉林を子一時間下り、林道に出て観光バスの待つ林道白屋線国道口へと急いだ。

今回御世話をさせて頂いた総LのFさんを始め、L、SL、会計の方々、色々大変だった事と思います。有難うございました。

(B班 勝尾 栄美子)



## 自主山行

## 鈴鹿の山：《雨乞岳・竜ヶ岳》

【日 程】11月3日（月・祝）～4日（火）

【参加者】L 島崎・林・杉村・亀井（4名）

## 1日目：雨乞岳(1,237m) 曇り時々雨

【コース】武平峠(8:43)～窯跡の跡(9:13)～クラ谷出合(9:40)～七人山のコル(10:43)  
～東雨乞岳(11:20)～雨乞岳(11:30/12:00)～杉峠(12:35)～鉦山跡  
(12:55/13:05)～コクイ谷(13:45)～クラ谷分岐(15:15)～武平峠(16:10)

御在所岳登山口付近には車、多くの登山者がいる。それを横目に雨乞岳へは武平トンネルを出たところで駐車する。登山口には私達のほか2グループがいた。

松の植林帯の急な坂を上ると15分程で自然林となり綺麗な紅葉が除々に見られるようになる。アップダウンを繰り返しながらも渡渉も出始める。暫く行くと昔の炭焼きの窯跡の平にでる。ここも紅葉は見ごろ落ち葉の彩りがまた美しかった。クラ谷分岐から道の崩れ、倒木などで道がわかり難い、常にテープを探しながら進み七人山のコル手前急登をひたすら上ると道は一変くま笹の中最後の急登を上りきると平坦な広場となる東雨乞岳の山頂に着く。360度の見晴らしで御在所岳、鎌が岳、水沢岳・・・と南北に連なった山並みが見え最高の山頂なのだが台風並みの強風のため飛ばされそうになりながら記念写真を撮り本峰の雨乞岳へと進む。15分で狭い雨乞岳山頂に着く。案の定強い風でダウンを着ても雨具を着ても寒くて寒くて・・・真冬並み？お弁当もそこそこに出発せざるを得なかった。しかしこの異常な寒さは山頂のみであった。

東雨乞岳では多くの人が出たのだが殆どピストン山行らしい。山頂から激下りの杉峠、そして愛知川本流へと下ったが私達以外登山口で会った若い3人グループと途中であった単独の男性しか下りは会っていない。この男性は御在所まで行くそうで見ている間にいなくなった。

暫く川沿いをそして高巻き道を歩いていると「←杉峠・根の平→」と標識があったが肝心のコクイ谷への案内がなかった。其のうちに多くの石垣が積んである御池鉦山旧跡があり明治時代300人がこの深山に生活していたとの事、生活感が感じられ歩きよい道が続き紅葉の束の間のハイキング気分であった。

しかしこの先の事を考えていなかった。雨もぽつぽつと降り出し・・・

資料には愛知川本流（神崎川）に沿って下って行けばコクイ谷に出ると簡単に書いてあったのだが大違い・・・

沢では数えられないぐらいの多くの渡渉、川に沿って下って行けば上水晶谷へ行ってしまふ。私達同様、後から来たグループももう少しで上水晶谷に入ってしまうところをリーダーの機転で僅かな口スで済んだ。当然地図を見ながら行かないと迷

っているところであるが、見ていても間違いそうな谷ではないかなあと・・・コウイ谷分岐につく。何度か岩を上り荒れた道を越えてクラ谷へ、ここからも沢歩きが待っていた。テープと石の目印をよく見極め慎重に進む。渡渉して10mも歩かない内にまた対岸へ、高巻をしてまた渡渉する。一歩間違えば川に転落しそうな危険な道、岩、そして川の流が速いところでの飛び石も滑る気がして女性2人は浅い水の中を慎重に歩くことも暫し、往きに通ったクラ谷分岐、武平峠の標識を見て「朝に通った分岐に着いた〜。」

リーダーとサブリーダーさんがいないと到底山行出来ないコースだと思いました。そして山の会からでないといけない複雑な地形の沢歩き山行のようでした。

(杉村 好子)

## 2日目：竜ヶ岳(1,099.6m) 晴れ

【コースタイム】 宇賀溪キャンプ村(8:55)～ホタガ谷入口(9:17)～ホタガ谷出合(9:45)～  
〈裏道登山道〉～分れ滝上部水場(11:00)～遠足尾根分岐(11:30)～竜ヶ岳  
(12:05/30)～重ね岩(13:02)～〈表道登山道〉～石樽峠(13:35)～小峠(13:50)  
～砂山分岐(14:10)～ホタガ谷入口(15:07)～宇賀溪キャンプ村(15:30)

キャンプ村から紅葉の綺麗な道を歩き、北河内橋から溪谷美を眺めつつ舗装された林道を登っていくとホタガ谷入口。緊急時の番号札とテープを目印にしながら行くと、丸太橋が有り、左岸が崖になっていて道幅も狭く緊張を要す登山道だ。ホタガ谷出合から渡渉を数回繰り返し、滝もあり急登。分れ滝上部水場で小休止して又



渡渉。沢が涸れたあたりから岩場になりかなり高度が稼げる。笹道を登っていくと遠足尾根・裏道分岐それに遠足尾根・金山尾根分岐と続き、見晴らしの良い笹の稜線だ。もうすぐ竜ヶ岳山頂だ。

山頂では、雨乞岳がまた御在所岳や鎌ヶ岳が目前に。振り返ると藤原岳、雪をいただいた乗鞍岳。9月に噴火した御嶽山も見え、眼

下には四日市、伊勢湾が紅葉の箱庭に見え、壮大な気分で昼食を戴き下山とする。道がガシたらしく迂回路になり合流すると砂礫の急降下になり、何とも不思議な重ね岩、風化岩が有り、一面白い砂礫と馬酔木畑が続く。クサリ場も有り、やっと砂山分岐。これでザレ場ともお別れと思いきや長尾滝や大鉄梯子。

又々番号札とテープを探しながら、渡渉に次ぐ渡渉。緊張しながら慎重に歩いていると、軽装で単独山行の男性が、我々を追い越し瞬時に五階滝等を通り過ぎてしまった、何と身軽な人もいるものだと感嘆しきり。でも未だ未だ注意を要する所多々有り、魚止橋を渡り白滝吊橋を越えると、工事中のショベルカーを止めて通して頂いた所がホタガ谷入口。無事下山出来たことを喜びつつ、変化に富んだ記憶に残る山行でした。

(亀井 稚代)

自主訓練山行：  
 県連登山学校 OB・現役合同特別訓練山行：岩登り Part 3

京都北山：《金毘羅山（北壁）》

【日 程】11月8日（土）

【参加者】L 中武（奈良労山）・杉川・今井・山田（こぶし）（4名）

【スケジュール】京都国際会館(9:00)＝花尻橋バス停(9:32)～江文神社(10:00)～北壁にて岩訓練(16:30)～戸寺バス停(19:20)

今回の岩訓練3回目は京都北山、金毘羅山の北壁でした。

前回と同じバスに乗り神社に到着。今日の予定を話し合いざ出発。今回は今までとは違う尾根へ向かう。国体で使用した岩もある。登ってる途中、怪我をした人とすれ違う。やはり難しい岩場が多い方なのかなと考える。途中で国体で使用した岩場を登ってる人がいたのでしばし見学する。やはり他人の登りを見るのはいい勉強になる。確保の仕方、登り方、支点の作り方とよく見ておく。いつかこんな岩も登れたらなと思う。

見学を終え目的の北壁に到着。名前どおりにまさに壁である。さっそくロープの設置に取り掛かる。上から落とし支点を作り準備をする。準備を終え、まずは懸垂下降で降りる。今までに無い高さである。それからはリードクライミングの練習。これが難しい。システムを理解しないといけない。登るのも北壁と言われるだけあり難しい。しかし登山靴でよじ登る。これ以上の壁ならクライミングシューズがいるなど実感する。しかし、リードクライミングと懸垂下降はさっと準備して出来ないといざ登山中に岩場があり、降りれない時に対応出来ない。準備に迷ってる暇は無いと思うので、繰り返し練習が必要だと感じました。

ひとまず、第3回までの予定の岩訓練は終了。まだやり残した事も多々あるので少しずつでも教えてもらおうと思います。

（杉川 明裕）



## 例会山行2・公開山行

## 奈良中部：《山の辺の道（北コース）》

【日 程】11月16日（日）

【参加者】L 林・SL 田中(悦)・窪田・多賀・田中(初)・辻・藤本・的場・阪口・亀井・船江（会員11名、一般5名、計16名）

【コースタイム】天理駅(8:40)～石上神社(9:20)～白川ダム(10:30/44)～弘仁寺(11:12/12:00)～円照寺(12:56)～百毫寺(14:25/53)～春日大社(15:23)

天理駅で、自己紹介と軽く準備体操をして市内の長い商店街を抜け石上神社へ。ここから山の辺の道となる。市街を離れ山里で気分爽快。白川ダムに着き休憩タイム。湖畔でのどかに釣りを楽しんでいる人がいた。

十三詣りで有名な弘仁寺に入山せず、手前の少し山道を上った所に、イチヨウの黄葉が見頃で木洩れ日のいい雰囲気の中で昼食をとる。



大和三門跡（中宮寺・法華寺・円照寺）  
円照寺は非公開のため山門で引きす。途中で山の辺の道の石標を通り過ぎてしまいが八坂神社手前の池で山の辺の道と合流。ベンチがあったので休憩する。高台なので見晴らしがいい。

その後、百毫寺へと行くが霊苑の所で上の道に行くかどうか迷うが、道標通りに左へと下る。百毫寺の山門は石段と両脇の萩、とても趣きのある山門です。花の時期が過ぎていたのが残念。境内に入ると二上山から生駒の山並と奈良盆地が見渡せる素晴らしい眺めです。そして、季節外れの桜の花(子福桜)がひっそり咲いていました。重要文化財の仏像をいろいろ拝観しましたが、本堂の阿弥陀如来

像の両脇に小さな勢至菩薩と観音菩薩の腰をかがめた姿が特に印象に残りました。

解散地の春日大社まで来ると、七五三詣りで綺麗に着飾った子供たちで賑わっていた。

長い道のりを歩いたので足と腰が痛くて少し辛かったが、神社仏閣を巡り充実した一日でした。

（田中 初子）

# 室内例会だより

【日 時】2014年10月29日(水) 19:00~21:00 事務所

【出席者】島崎、林、杉村、藤本、多賀、村田、田中悦、田中初、藤井、  
辻、勝尾、玉越、的場、杉川、阪口、橋本、亀高、亀井、船江、都築

## 1. 山行案内

- 11月 9日(日) 例会山行1 宇陀の山(音羽山~経ガ塚山) L 都築
- 11月16日(日) 公開山行 奈良中部(山の辺の道・北半分) L 林
- 11月23日(日・祝) 例会山行1 紀北の山(龍門山) L 杉村

## 2. 山行報告

- 9月27日(土) 自主山行 若狭の山<<青葉山(若狭富士)>> L 藤本 3名
- 10月4日(土)~5日(日) 例会山行2: 女性部山行(御杖村のお月見と二上山)  
L 村田 7名
- 10月12日(日) 例会山行1 室生山地(古光山~曾爾高原) L 橋本 6名
- 10月19日(日) 例会山行1 リトル比良(岳山・岩阿沙利山) L 阪口 6名
- 10月19日(日) 自主訓練山行 県連登山学校OB・現役合同特別訓練山行  
岩登り part2 京都北山(Y懸ノ頭) L 中武(奈良労山)、杉川、今井、他会3名

## 3. 連絡その他

### ・県連より報告

県連自然保護・自然観察ハイキング 11月9日(日) 京都・貴船~鞍馬  
近畿ブロック自然保護交流ハイキング 11月15日(土) 武庫川福知山線廃線

跡

近畿ブロック女性交流山行 11月15日(土)~16日(日) 六甲山系 摩耶山  
チャレンジハイク 11月22日(土) 高円山~滝坂の道

- ・12月7日の休会中の高橋さんの山行を検討する。
- ・夏山山行については、候補地を3つ選んで11月末までに島崎会長と事務局(都築)まで報告。12月の運営委員会で検討する。
- ・12月21日忘年会(現在16名参加予定)
- ・ホームページの確認 コースタイムと概略を編集担当者に送付すること  
担当者: 島崎さん、藤本さん、辻さん、玉越さん、的場さん、杉川さん、亀高さん
- ・山行計画書は緊急連絡先と事務局に送付すること。(変更の場合も連絡すること)  
(都築 周作)

# 西大和つうしん

第390号(2014年12月号)

2014年11月26日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 藤本武司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

<http://www.nishiyamatoyama.org/>